



H23. 8. 5. No1289  
 静岡県漁業協同組合連合会  
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
 編集・発行＝指導部漁業振興課  
 URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

東日本大震災により、被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます。1日も早く復興されますように、お祈りしております。

### 1. 迫る漁業用燃油に対する免税措置等の期限切れ —恒久化に向け要請—

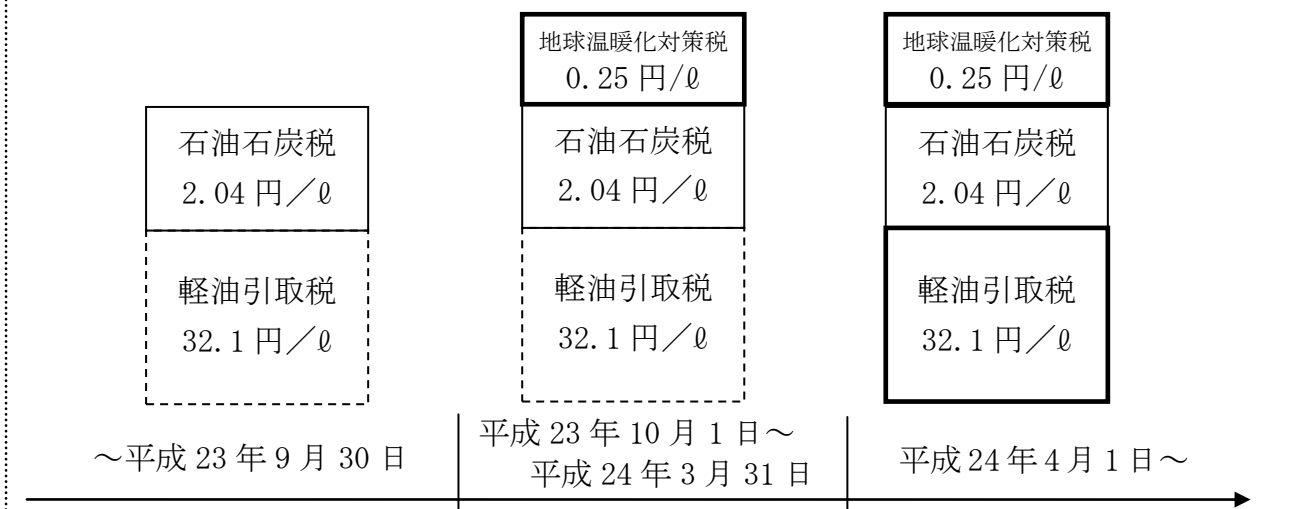
現在、漁業に使用する軽油に対しては、漁業経営の安定発展を後押しするため、軽油引取税の税金が政策的な配慮により特例措置として免除されています。

しかし、この特例措置は恒久的なものではなく時限的な措置であり、平成24年3月31日に期限切れを迎えるのに加え、平成23年10月1日からは地球温暖化対策のため、既存の石油石炭税に税率を上乗せする地球温暖化対策税の導入も予定されています。

＜平成24年3月31日期限切れとなる軽油の特例措置＞

○漁船等船舶などについては、軽油引取税 32.1 円/リットルが免税

□ 課税      □ 免税      □ 新たに課税



コストに占める燃油のウエイトが大きい漁業では、この増税負担は漁業者にとって非常に厳しいものとなるため、JFグループ全国運動の一環として、6月開催の本会通常総会において燃油税制にかかる特例措置に関する特別決議を全会一致で可決したほか、本県選出の国会議員に要望書を提出し、当該運動へご尽力いただくよう要請を行い、また、7月26日には県議会水産議員並びに県知事に特例措置の恒久化に向けた要請を行っています。各地区の皆様におかれましても、浜の意見として免税措置の継続に向けた取り組みをお願いします。

### 2. 平成23年度 第2回天草共販入札会開催

本会では、7月27日 天草共販事業の第2回入札会を、伊豆漁協（本所）において開催しました。（7月20日開催予定が順延）第2回入札会では、伊豆漁協安良里支所や同土肥支所小下田地区の天草が中心に集荷され、入札会の結果、総取扱金額及び平均価格は次のとお

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

りとなりました。

▽入札数量：15,996 k g（642本/25kg）▽取扱金額：22,892,851 円   ▽平均単価：14,312 円（10 k g 当たり）▽最高価格：白田（まくさ粗改良）22,690 円（10 k g 当たり）。

第2回までの取扱累計は、数量27,096 k g、本数1,086本（前年比2,483.5 k g 増、99本増）取扱金額34,246,201 円、平均価格12,639 円（同10,295,290 円増、2,908 円増）となりました。＜参考＞次回第3回入札会の開催予定日は、8月17日（水）です。

### 3. 漁業者が一体となった復興を目指す緊急全国漁業代表者集会

JF全漁連では、7月6日コープビルで「漁業者が一体となった復興を目指す緊急全国漁業代表者集会 ～水産特区構想によって浜の秩序を崩壊させないために～」を開催し、全国から230人が参加、本県からは県漁連荒川会長、県信漁連宮原会長ら4名が参加しました。

この集会では、復興構想会議が特区手法の活用により、地元漁業者が主体となった法人が漁協に劣後しないで漁業権を取得できる仕組みを実現すべきであるとの内容を盛り込んだ提言を行ったことに対し、「一部の地元漁業者が主体となった法人が直接免許を受け、二つの管理主体が存在することとなれば、浜の混乱を招くこととなる。また、特区構想が漁業者の絆を分断し、長年にわたって積み上げてきた浜の秩序の崩壊につながるものであれば、JFグループは、その導入を断じて容認することはできない。国においては、地域の実態と意向を十分に把握し、未曾有の困難を乗り越え復興に取り組めるよう、関係者間の調整・仲介に最大限の努力を行うことを求める。」とした主旨の大会決議を満場一致で採択しました。

### 4. 漁業経営セーフティネット構築事業 —燃油 2度目の補てん発動—

漁業者の経営安定対策の柱の一つである燃油・配合飼料の価格の高騰時に備えた「セーフティネット構築事業」において、原油価格等の高騰が続いているため、平成23年度第1四半期（4～6月）の平均原油価格が57,053.3 円となり、補てん金の発動となるライン（直前2年間の平均原油価格×1.15＝49,369.0 円）を上回った結果、補てん単価7,680 円/ℓが確定し、本県7漁協63契約者に補てん金の支払いが実施される見込みとなりました。

### 5. 環境放射能に関する会議が開催

7月25日、静岡県原子力発電所環境安全協議会が静岡市内で開催されました。これは、浜岡原子力発電所の周辺で、従来から実施している放射能調査に関する結果や計画を検討する会議です。本年度の調査が実施される予定はシラス、ヒラメ、アジ、カサゴ、サザエ、ハマグリ、カキ、ムラサキイガイ、イセエビ、タコ、ナマコ、ワカメの12種です。

### 6. 漁業再開支援物資「1JF・1箱運動」の結果

去る5月20日からJFグループ間連携支援として実施していた「1JF・1箱運動」については、全国の漁協系統からの協力により、ゴム手袋、軍手等6,490双、長靴555足、カップ223着、作業用ズボン242着、その他（マスク、帽子、ヤッケ等）500個の物資が被災地のJFに届けられました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう